

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 国立大学法人岡山大学	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
----	---------------------------	----	---

本票作成 部署名：国立大学法人岡山大学 安全衛生部安全管理課

主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育
-------	-------	----	----------

事業の概要 国立大学法人として、学部、大学院、附属病院、附属学校園及び研究所等を設置し、従業員数約4,700名、学生、生徒及び児童合わせて約15,000名が所属している。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	鹿田団地	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
	②	津島団地	岡山市北区津島中一丁目1番1号
	③	倉敷団地	倉敷市中央町二丁目20番1号
	④	東山団地	岡山市中区東山二丁目13-80
	⑤	牛窓団地	瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17
	⑥	平井団地	岡山市中区平井三丁目914

特定事業者の該当要件  ①燃料等原油換算1,500kℓ以上  ②バス・トラック100台、タクシー250台以上  ③CO<sub>2</sub>換算3,000t以上  
(●工場等の数 12 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 28 )年度排出量	目標年度(平成 32 年度)
	51,239 t CO <sub>2</sub>	54,400 t CO <sub>2</sub>	48,677 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28 )年度排出量
	①	鹿田団地	34,104 t CO <sub>2</sub>
	②	津島団地	18,225 t CO <sub>2</sub>
	③	倉敷団地	1,393 t CO <sub>2</sub>
	④	東山団地	377 t CO <sub>2</sub>
	⑤	牛窓団地	115 t CO <sub>2</sub>
	⑥	平井団地	86 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 32 年度 ( 5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 28 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.2 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 28 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

前年度に継続し、クールビズ及びウォームビズの励行、電力使用状況、省エネ対策等の情報提供、講習会等の開催等ソフト的な措置及び省エネ設備機器の導入等ハード的な措置を講じたが、基準年度の排出量に対する平成28年度の排出量実績は、6.2%増加となった。要因としては、購入電力会社を平成27年度途中で変更(平成27年度実排出係数：丸紅(株)0.482→中国電力(株)0.706、単位は何れもkg-CO<sub>2</sub>/kWh)した団地において、通年で中国電力(株)から電力を購入したこと、また、平成27年度と比較して、夏季及び冬季共に気象状況が厳しく、空調負荷が増加したこと、さらに、平成28年度から講義時間を変更し、年間の講義時間が長くなったことが影響したものとする。

**【推進体制】**

事業主である学長は、本学が掲げる地球温暖化対策に関する実施基本計画並びに学内環境管理規則及び関連規定に基づく施策を推進する。また、事業場内を部局（学部、大学院等）という単位に分割し、各部局単位で温室効果ガス削減のための管理体制を構築及び運用し、責任を持って計画を推進する。目標達成の計画の策定及び実施状況については、本学環境マネジメント委員会及び各部局における関連委員会において毎年度検証を行い、必要に応じて施策を見直し、目標達成に努めている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全事業場	<p><b>【実施した措置】</b>                      ①地球温暖化対策啓発のためのポスター、②ステッカーの作成及び配布、③空調設定温度目安設定、④クールビズ・ウォームビズ励行、⑤Hf型照明器具に変更、⑥チラシの作成及びメール配信</p> <p><b>【今後の取組】</b>                      本部及び部局による検証（継続）、目標の周知（継続）、地球温暖化対策啓発（継続）</p>
鹿田団地	<p><b>【実施した措置】</b>                      建物改修時において、①統合による変圧器の廃止、②Hf型照明器具に更新、③ボイラーの更新（燃料種の変更：A重油→都市ガス）、④スクリーン冷凍機の更新、⑤BEMS導入、⑥空調の更新、⑦蒸気バルブ類の保温、⑧外来用ターボ冷凍機の更新、⑨冷温水発生機用冷却水ポンプ及び冷温水一次ポンプの制御をインバーター方式に変更、⑩モジュールチラー台数制御方式の変更、冷温水発生機用冷却水ポンプ及び冷温水一次ポンプの制御をインバーター方式に変更、蒸気配管ジャケット取付</p> <p><b>【今後の取組】</b>                      冷却塔ファン発停制御変更（継続）、空調機CO2制御による排気ファンインバーター制御に変更（継続）、空冷チラー更新、外灯照明LED化</p>
津島団地	<p><b>【実施した措置】</b>                      建物改修時において、①Hf型照明器具に更新、②変圧器の更新、③ビル用マルチエアコンの更新、④太陽光発電の導入（本部棟、国際交流会館）、⑤学部における太陽光照明導入、⑥緑のカーテン活用、⑦吸収式冷温水発生機の更新、⑧給排気ファンベルトを省エネタイプに変更、⑨給排気ファンモータを高効率タイプに変更</p> <p><b>【今後の取組】</b>                      ビル用マルチエアコンの更新（継続）、吸収式冷温水発生機の更新（継続）、給排気ファンベルトを省エネタイプに変更（継続）、給排気ファンモータを高効率タイプに変更（継続）、空冷チラー更新</p>
倉敷団地	<p><b>【実施した措置】</b>                      ①照明器具の更新、②空調機器の更新、③節電、④人感センサー導入、⑤屋上緑化、⑥サーキュレータの設置、⑦ペアガラスの導入、⑧太陽光発電の導入、⑨LED照明器具に変更</p> <p><b>【今後の取組】</b>                      節電（継続）、屋上緑化（継続）、壁面緑化（継続）</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

地球温暖化対策のための温室効果ガス排出削減等に係わる環境分野において、高い能力と人格を備えた人材を育成するために講演会、講習会、セミナー及び講義等の教育活動を行うと共に、持続可能な社会の構築のために再生可能エネルギーの開発、高機能及び低コストな電池材料の開発並びに省エネルギー型の資源回収・環境浄化に関する技術開発等の研究活動を行っている。

また、毎年度、環境報告書を作成し、事業活動に伴う環境負荷の状況について外部へ公開しているほか、構成員に対してはダイジェスト版を配布し、周知を行っている。

さらに、事業活動に支障がない範囲で無駄なエネルギーの使用を無くすよう、エネルギーの有効利用について指導を行っている。